

2026 10月

鷹栖町図書室に新しく入った本

(9月分より)



☆新しく入った本は他にもございます。
図書室では新着図書のリストを配布して
おります。また、鷹栖町図書室の蔵書検
索から探すこともできます。



たかす(一般)

『飛燕』(あさのあつこ／朝日新聞出版)

『愛する男』(乾ルカ／祥伝社)

『スナックふたり』(川上弘美／中央公論新社)

『あの日のつづきを生きている』(朝倉宏景／東京創元社)

『短歌ご一緒しませんか』(岡村靖幸／筑摩書房)

『絵本のたのしみかた』(フィリップ・ブラッスール／アチェロ)

『いくつになっても「血管」を守る食事』(今泉久美／文化学園文化出版局)

『おうちで楽しむ韓国麺レシピ』(マダム・フィーカ／山と溪谷社)

『専門店が教える川魚の飼ひ方』(チャーム 監修／メイツユニバーサルコンテンツ)

『ハヤブサ消防団 2』(池井戸潤／集英社)

『傾斜のマリア』(恩田陸／双葉社)

『埼玉マンション物語』(篠田節子／光文社)

『楽園』(タ木春央／講談社)

『むしろ映えてる日々』(小林聡美／毎日新聞出版)

『定年後の働き方で知りたいことが全部のってる本』(西村栄子 監修／主婦の友社)

『低山遭難』(羽根田治／東洋経済新報社)



たかす(児童)

『でんしゃでんでんでん！』(あおきひろえ／世界文化ワンダーグループ)

『ひめゆりの塔』(カイズケン／汐文社)

『いちばんはじめてのてんきずかん』(ロシトロカ／成美堂出版)

『なつのおばけずかん』(斉藤洋／講談社)

『会いにいける！恐竜・古生物図鑑』(土屋健／幻冬舎)

『ジブリの食卓座の上のポニョ』(スタジオジブリ 監修／主婦の友社)

『これはただのおりがみ』(rekko／Gakken)

『トミカのおりょうりだいさくせん』(つむばば／講談社)

『ふざけないの、デイビッド！』(デイビッド・シャノン／評論社)

『ルビねことドラゴンの風』(野中柊／理論社)

『核実験場のとなりで生きる』(小山美砂／合同出版)

『図鑑いきもの飼ってみた』(森こんにやく／KADOKAWA)

きたの(一般)

『犬と逃げる』(佐藤青南／実業之日本社)

『上機嫌でいこう』(吉本ばなな／幻冬舎)

『だれか、わたしを助けて』(エリカ・クラウス／亜紀書房)

『イラスト図解パズルで身につく論理的思考力』(北村良子／大和出版)

『つまり、それがルッキズム』(前川裕奈／講談社)

『伸びごはん』(沼倉裕堅／日本文芸社)

『みか@ライスペーパーネキの進化系ライスペーパーレシピBOOK』(みか@ライスペーパーネキ／三恵社)

『きよくしぶとくやかましく』(寺地はるな／幻冬舎)

『能面刑事の挫折』(中山七里／光文社)

『はじまりのスープ、夏ゼリー』(瀬尾まいこ／新潮社)

『膠原病・リウマチがわかる本 イラスト版』(竹内勤 監修／講談社)

『敗れてもまた走れ』(財部誠一／ニュースピックス)

『池袋高齢者暴走事故』(森田哲／文藝春秋)

きたの(児童)

『まてるもん』(はせがわゆうじ／リベラル社)

『はなび』(カティア・チェン／岩崎書店)

『フェザー』(マノン・ステファン・ロス／静山社)

『47とどうふけんをおぼえる妖怪ずかん』(朝里樹 妖怪監修／文響社)

『ゆるゆる地球図鑑』(irorico／Gakken)

『ライオンのおばけキャンプ』(さかとくみ雪／中央公論新社)

『あのひのまたあした』(岡田千晶／金の星社)

『とけいのほりやすみ』(村上しいこ／PHP研究所)

『マンガでわかる！小学生から知っておきたいAIとの上手なつきあい方』

(宮澤弦 監修／主婦と生活社)

ほか

～鷹栖町図書室の本はふるさとまちづくり応援寄附事業の寄附金を活用して購入しています～

図書室だより

10月22日(木)

18:30より

図書室にて大人向け
イベントとして映画
「深夜食堂」を上映し
ます。

申し込み不要、無料で
ご覧になれますので、
ぜひ図書室にいらし
てください。



9月の本棚リレーは
三歩よし子さんでした。



9月の「音楽のある図書室」は
菊地美由紀さんによるギターとうたでした